

科目名	成人急性期看護学演習Ⅰ Acute Care Adult Nursing SeminarⅠ			担当教員 (研究室番号)	玉田 章 (307) 脇坂 浩 (306)		教員への連絡方法 (メールアドレス)		玉田:akira.tamada@mcn.ac.jp 脇坂:hiroshi.wakisaka@mcn.ac.jp			
履修年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											遠隔授業	否
科目 目的	生命の危機的状態にある患者および家族に対応する効果的な看護援助を提供するための方法・課題を文献的学習により探究し、高度な看護実践につなげる基礎的能力を育成する。また、周手術期患者の看護過程の展開から必要な臨床判断能力と臨床実習や臨床教育に必要な教育能力を育成する。											
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
	関連する DP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。										
到達 目標	1. 成人周手術期患者の看護過程演習の実際を知り、看護学への教育方法の実践につなげることができる。 2. シミュレーションによる周手術期患者の計画実践から患者理解を促す教育方法について知ることができる。 3. 救急患者ならびに初療外来におけるアセスメントポイントを理解できる。 4. 救急患者ならびに初療外来における症状発見のための観察ポイントを理解することができる。											
成績評価方法 (基準)		演習参加状況(30%)、レポート(70%)										
教科書		特に指定しない。										
参考書等		必要時に提示する。										
受講者への メッセージ												
備考		課題については、説明資料として作成し提出すること。これをレポートとして評価する。 学部学生の授業の聴講を必要とする授業回があり、このために開講日時を変更する場合がある。										
回	学習項目				学習内容						主担当 教 員	授業 方法
1回	周手術期患者の看護過程① 【成人看護学方法Ⅳ聴講】				学部の成人看護方法Ⅳの初回授業を聴講し、周術期患者の事例およびゴードンの機能的健康パターンなど看護過程演習の基本的内容を知る。 (課題：事例の看護計画を立案する。)						玉田	講義
2回	周手術期患者の看護過程②-1 【成人看護学方法Ⅳ聴講】				学部の成人看護方法Ⅳの第2回授業を聴講し、情報に基づく「解釈・分析」のポイントを学ぶ。						玉田	演習
3回	周手術期患者の看護過程②-2 【成人看護学方法Ⅳ聴講】				学部の成人看護方法Ⅳの第3回授業を聴講し、情報に基づく「解釈・分析」のポイントを学ぶ。						玉田	演習
4回	周手術期患者の看護過程③-1 【成人看護学方法Ⅳ聴講】				学部の成人看護方法Ⅳの第10回授業を聴講し、問題点に対する目標と計画立案における指導上のポイントを知る。						玉田	演習
5回	周手術期患者の看護過程③-2 【成人看護学方法Ⅳ聴講】				学部の成人看護方法Ⅳの第11回授業を聴講し、周手術期患者の看護過程⑥のための授業方法を知り、学生指導の実践に備える。(事後レポート：これまでの聴講をもとに「看護過程の演習における指導上のポイント」をまとめる)						玉田	演習
6回	周手術期患者の看護過程④-1 計画(看護手順)に基づいた 看護援助実践の指導 【成人看護学方法Ⅳで実践】				学部の成人看護方法Ⅳの第12回の授業において、「計画」に基づいた看護援助を実践する学部学生に対し、術後患者の全身状態の観察および回復の促進に必要な看護援助についての指導を実践する。						玉田	演習
7回	周手術期患者の看護過程④-2 計画(看護手順)に基づいた 看護援助実践の指導 【成人看護学方法Ⅳで実践】				学部の成人看護方法Ⅳの第13回の授業において、「計画」に基づいた看護援助を実践する学部学生に対し、術後患者の全身状態の観察および回復の促進に必要な看護援助についての指導を実践する。						玉田	演習
8回	救急患者のフィジカルアセスメント 情報の取り方と活かし方				救急患者の情報収集の方法 トリアージのための情報収集						玉田	演習
9回	救急患者のフィジカルアセスメント 系統的アセスメントと重点的アセ スメントの違い				救急患者および家族に関する情報のアセスメントでのポイント						玉田	演習
10回	初療外来における症状発見とアセ スメント 急変・救急時の観察①				患者が急変した場合や救急外来で患者を受け入れた時の観察の ポイント						脇坂	演習
11回	初療外来における症状発見とアセ スメント 急変・救急時の観察②				急変した患者や救急外来で受け入れた患者の観察情報からのア セスメントの概要						脇坂	演習
12回	初療外来における症状発見とアセ スメント 意識障害の観察①				意識障害の原因と特徴						脇坂	演習
13回	初療外来における症状発見とアセ スメント 意識障害の観察②				意識障害の評価と看護の方向性						脇坂	演習
14回	初療外来における症状発見とアセ スメント 呼吸器系の観察①				重症・危篤患者の呼吸器系の観察ポイント						脇坂	演習
15回	初療外来における症状発見とアセ スメント 呼吸器系の観察②				モデル人形による重症・危篤患者の呼吸器系の観察演習						脇坂	演習